

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2592 号

Predictors of major cardiovascular and cerebrovascular events after acute coronary syndromes: A retrospective observational study among elderly patients

急性冠症候群後の主要脳・心血管イベント予測因子：高齢者における後ろ向き観察研究

濱 芳紀（はま よしのり）

博士（医学）

論文内容の要旨

日本では高齢化が急速に進んでいるが、急性冠症候群（ACS）初発患者における主要脳・心血管イベント（MACCE）の臨床的予測因子は十分に検討されていない。そこで本研究では、高齢の介護を要する ACS 初発患者における MACCE の予測因子を明らかにすることを目的とした。Yokohama Original Medical Database (YoMDB) データベースを用いて、2014 年 4 月から 2016 年 3 月までに ACS を初発し、介護認定を受けた患者 3361 人を抽出した。2014 年 6 月から 2018 年 3 月までの MACCE 発症割合を後ろ向きに調査した。各患者の日常生活自立度（IDL）を 3 つのカテゴリ（reference, mild, severe）のいずれかに分類した。MACCE の予測因子は、多変量ロジスティック回帰分析を用いて同定した。IDL の低下は MACCE のリスク上昇と線形に関連し、reference, mild, severe の調整オッズ比はそれぞれ 1.00、1.35（95%信頼区間 1.14-1.60）、2.12（95%信頼区間 1.61-2.80）であった。本研究により、ACS 初発で介護を必要とする高齢者において、男性、慢性腎臓病、心房細動、高強度スタチン、低強度スタチン、低 IDL（自立度が低い状態）が MACCE の予測因子であることが明らかになった。MACCE の同定された予測因子に対する介入の結果を理解するために、さらなる研究が必要である。